令和　年度動物実験報告書

年　　月　　日

熊　本　大　学　長　　殿

熊本大学動物実験等に関する規則第１２条第２項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

□年度報告（実施を継続する場合）　□完了　　□中止

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 動物実験責任者 | 氏　名 | 部局名 |
|  |  |
|  | | |
| 研 究 課 題 名 |  | |
| 承　認　番　号 |  | |
| 実験実施期間 | 年　　月　　日～　　年　　月　　日 | |
|  | | |
| ・実施状況経過報告  ・完了の場合成果報告  （予定を含む）  （得られた業績、  例：雑誌論文、図書、  工業所有権などについて、  著者名、論文標題、  雑誌名、巻・号、発行年、  頁、出版社などを記載、  必要に応じて別紙に記載） |  | |
|  | | |
| 中止の場合その理由 |  | |
|  | | |
| 特　記　事　項 |  | |

　※裏面に記入例があります。

令和　年度動物実験報告書（記入例）

青文字：記入例

赤文字：動物実験報告書を書く上での留意点(記入要領)

赤文字：動物実験計画書を書く上での留意点(記入要領)

年　　月　　日

・実験を継続する場合⇒「年度報告」

・終了した場合⇒「完了」

・中止した場合⇒「中止」

　にチェックを入れてください。

熊　本　大　学　長　　殿

熊本大学動物実験等に関する規則第１２条第２項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

□年度報告（実施を継続する場合）　□完了　　□中止

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 動物実験責任者 | 氏　名 | 部局名 |
| 熊　　大　　太　　郎 | 生命資源研究・支援ｾﾝﾀｰ　病態遺伝分野 |
|  | | |
| 研 究 課 題 名 | ○○シグナル経路の発がんへの関与およびその抑制薬△△の抗癌作用の検討 | |
| 承　認　番　号 | **A2022– 9 9 9** | |
| 実験実施期間 | **年　　　月　　　日～　　　年　　　月　　　日**  「中止」の場合は中止日を記入してください。 | |
|  | | |
| ・実施状況経過報告  ・完了の場合成果報告  （予定を含む）  （得られた業績、  例：雑誌論文、図書、  工業所有権などについて、  著者名、論文標題、  雑誌名、巻・号、発行年、  頁、出版社などを記載、  必要に応じて別紙に記載） | 記入欄が不足する場合はスペースを拡大あるいは別紙をつけて記入してください  実験が　「完了」　した場合に成果報告を記入してください  実験期間が翌年度に及ぶ場合（継続）に経過報告を記入してください  但し、当該課題を当初の計画より継続する場合は、別途　「継続申請」　を  提出してください | |
|  | | |
| 中止の場合その理由 | 実施計画期間中に実施計画を　「中止」　する場合に  中止の理由を記入してください | |
|  | | |
| 特　記　事　項 |  | |